

教育関係共同利用拠点

知識基盤社会を担う専門教育指導力育成拠点
大学教員のキャリア成長を支える日本版SoTLの開発



Professional Development Program

2015年度プログラム

世界水準の大学教育創造を目指して



東北大学
高度教養教育・学生支援機構



専門性開発 プログラム

大学教員の役割は、研究・教育・社会サービス・管理運営の全面にわたり、キャリア・ステージによって、求められる能力も異なります。また、大学職員の仕事も定型的な業務だけでなく、課題の分析や企画の構想、マネジメントも求められるようになりつつあります。私たちは、大学教職員の生涯にわたる能力開発のために、分野別とキャリア対象別にて専門性開発 (Professional Development; PD) プログラムを開発・提供しています。

分野別プログラム

高等教育、大学を取り巻く環境は大きく変化しており、大学教職員に必要とされている能力も高度化・多様化しています。様々な能力開発ニーズを充たすべく、セミナーやワークショップを4分野(ゾーン)に分けて提供しています。

ゾーン	カテゴリー/エレメント
高等教育の リテラシー 形成関連	高等教育論 [L-01] 高等教育の歴史、大学の理念、大学制度・組織、入試制度、関連法制、管理運営、国内外の動向など広く高等教育に関する知識・教養に関するもの 大学教員論 [L-02] 大学教師の役割・責務、倫理、キャリア形成など大学教員に関する知識 教育内容・カリキュラム論 [L-03] 教養教育論、カリキュラム論など教授する教育内容の教育論に関するもの 教授技術論 [L-04] 授業の設計、シラバスの書き方、学習と教授の心理学、教育測定の原理と方法、プロジェクトベースラーニングの進め方、論文・レポート執筆の指導など教授技術に関するもの
専門教育での 指導力形成関連	学習指導法 [S-01] 専門分野の学習方法の指導法 実験指導法 [S-02] 実験の計画、準備、実施、結果の整理、施設・設備・機器類の使用、危険の防止、倫理的ガイドライン等についての指導法 研究指導法 [S-03] 研究テーマの設定方法、関連文献の検索方法、プレゼンテーションの方法、論文のまとめ方、研究費の申請方法等についての指導法
学生支援力 形成関連	学生論 [W-01] 現代学生論、大学生の発達と学習、学生の生活問題、学生理解とカウンセリングなど学生理解と指導に関するもの 学生相談 [W-02] 大学コミュニティへの適応支援の技術、カウンセリングの基礎、コンサルテーションの基礎、グループワークの基礎、人間関係調整法等の指導 キャリア教育 [W-03] 進路選択の支援方法、キャリア形成の支援方法、経済的自立の指導 健康教育 [W-04] 健康な生活習慣形成の指導法、趣味や余暇活用の指導法
マネジメント力 形成関連	組織運営論 [M-01] 大学の管理運営、大学のリーダーシップ論、危機管理 大学人材開発論 [M-02] FD/SD論、教職員開発プログラム作成、キャリア・ステージ論 教育マネジメント [M-03] 質保証、入口管理、カリキュラム・マネジメント、出口管理

キャリア対象別プログラム

大学教員のキャリア・ステージに応じて特別に編成したプログラムを中心に、各種セミナーやワークショップを受講を通じて、各ステージで直面する特有の課題を解決する力を養います。博士課程後期学生、ポスドク研究員、新任教員、中堅・リーダー教職員層、大学職員、そして、今年度は専門教育指導者を加え、それぞれに特化して提供しています。



PFFP
Preparing Future Faculty Program
大学教員準備プログラム

ジュニア
ファカルティ
プログラム

大学教員をめざすあなたに

仙台周辺の大学に所属する博士課程後期の大学院生等を対象に、大学教員に求められる能力や知識を実践的に学び、「将来の大学教員像」について主体的に考える機会を提供するプログラムです。参加者は各種セミナー、ワークショップ、授業参観、他大学の調査訪問等での体験を省察しながら、未来の同僚や経験豊富な教員との対話を通じて、大学教員としての自分の在り方や、教育観の構築に取り組みます。



NFP
New Faculty Program
新任教員プログラム

ジュニア
ファカルティ
プログラム

大学のこれからを担うフロントランナーに

仙台周辺の大学に勤務する新任教員を対象に、「仕事を理解する」、「基礎知識を得る」、「自己省察力を養う」、「実践力を磨く」、「比較の目を育てる」、「同僚とつながる」、「先達から学ぶ」などをテーマに大学教員として必須の教養を培うプログラムです。経験豊かな先達教員らの授業見学や意見交換、同僚である他の参加者らとの対話を通じて、組織の一員としての大学教員、大学教育全体を考える視野を身につけます。



LAO
Leadership for Academic Development
Certificate Program
**アカデミック・リーダー
育成プログラム**
(履修証明プログラム*)

大学変革を担うアカデミック・リーダーに

各大学で教育・研究・学生支援・国際化等の企画や改革に携わる副学長・部局長・学科長・アドミニストレーターといったアカデミック・リーダーを育成することを目的としたプログラムです。各所属機関の改革案を作成し実行していけるアカデミック・リーダーを育成するため、国内一流の講師・アドバイザー陣の下、高等教育に関する高度で体系的な知識・技能を獲得するとともに、国内外の大学の先進的事例を通して実践的に学びます。

・履修証明プログラム:
社会人等を対象に大学の教育・研究資源を活かし、一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムです。目的や内容に応じ総時間数120時間以上で設定され、プログラム修了者には、学校教育法に基づき履修証明書が交付されます。



SDP
Staff Development Program
大学職員能力開発プログラム

大学教育の運営力を高める

質の高い大学教育を実現するには、教員の教育力向上に加え、高度な専門性をもった職員のマネジメント力向上が求められます。職員として、学生の学びを豊かにする空間をいかに整備するのか、あるいは教育改善においていかなる役割を果たすべきなのか、このプログラムでは、各種セミナーやワークショップを通して、教育企画力や学習支援など、大学職員に求められる能力の開発・向上を図っていきます。



OTP
Discipline-Specific Teaching Program
**専門教育指導力育成
プログラム**

競争力の基盤となる専門教育指導力を獲得する

グローバル化が推進されている日本の大学において、競争力の基盤となる専門分野の指導力向上は大学教育力の強化において必須です。学生の学習メカニズムや教授＝学習過程の理解、専門分野における最先端の研究成果をカリキュラムに構造化し、授業科目に反映させ、学生の理解を促進させる教材・教育方法を進める専門教育指導力の形成が重要です。日本の高等教育における専門教科教育の質の向上を目的とし、新しいプログラムを提供します。今年度は、**英語教育**、**中国語教育**、**数理科学教育**対象のプログラムを実施します。



Professional Development Program

2015年度 PDセミナー 開講科目一覧

受講にあたって

PDセミナーは4ゾーンに分けて提供しています。院生、新任教員、中堅・リーダー教職員、職員のどの層を対象にしているかが分かるようにし、様々な必要性に対応して、計画的に受講しやすいようにしています。これらの区別は大まかな目安であって、縛られる必要はありません。ご自身に必要なセミナーを受講してください。

詳細について

日時等は変更となる場合があります。申込方法、開催場所の詳細は、各セミナーのポスターまたは東北大学大学教育支援センターウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD>

[凡例]	[対象]
# No.	院生:院生向け
タイトル	新任:新任教員向け
開催日時	中堅・リーダー:教職員向け
	職員:職員向け
概要	
講師	[推薦度]
[コード] 対象 推薦度	◎:絶対お薦め
	○:押さえておきたい
	△:視野を広げる
	×:対象外

L

高等教育の
リテラシー形成関連

#1

質の高い学生の学びを実現する
大学教授法

——ヘルシンキ大学・東北大学共催セミナー

5/14(木) 13:30-16:30

●東北大学東京分室にて開催

本セミナーでは、ヘルシンキ大学高等教育研究開発センター長のSari Lindblom-Ylänne教授(高等教育学)を講師にお招きし、学生を質の高い学習に導くための理論と実践について、参加者自身の教育・学習経験をふり返りつつ、ワークショップ形式で学びます(櫻井勇介氏がファシリテーター支援)。特に「学習アプローチ」、「学習に関わる感情」、「構成主義的整合」を軸に、学生の学びの質向上を促す手法の獲得を目指します。

●講演は全て英語で行われます。

Sari Lindblom-Ylänne(ヘルシンキ大学教授)

櫻井勇介(ヘルシンキ大学博士号)

[L-01] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 △

#2

東北大学高等教育フォーラム

大学入試改革にどう向き合うか

——中教審高大接続答申を受けて——

5/15(金) 13:00-17:00

大学入試を根底から変える方針を示した昨年12月の中央教育審議会を巡り、高校、大学の現場では何が起ころのでしょうか。それぞれの立場から議論を重ねていく必要があります。基調講演に中央教育審議会と国立大学協会の委員を迎え、答申の背景を探ります。

土井真一(京都大学教授)

川嶋太津夫(大阪大学教授)

浜田伸一(福島県立福島高等学校教諭)

倉元直樹(東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授)

[L-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#3

大学教育改革のトレンドと
日本が目指すべき21世紀の
学士課程教育像

8/2(日) 10:00-12:00

我が国の大学教育は現在、急速な改革の中にあります。マス化・ユニバーサル化やグローバル化・知識社会化が、教育内容・方法の質的変容を迫っているからです。本セミナーでは、国内外における大学教育改革のトレンドを踏まえ

LAD

つつ、特に21世紀日本が目指すべき学士課程教育のあり方について論じます。

小笠原正明(北海道大学名誉教授)

[L-02] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ○

#4

授業づくり:準備と運営

9/16(水) 13:00-15:00

学習者が集中し、十分に理解できるような授業をつくるためには何に留意し、どのような準備をして、いかに授業を展開すると良いのでしょうか。本セミナーでは、1回の講義形式の授業を念頭に置き、学習者の認知面・心理面から授業づくりについて学びます。

邑本俊亮(東北大学災害科学国際研究所教授)

[L-04] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ○

#5

授業デザインとシラバス作成

8/25(火) 13:00-17:00

シラバスの数ある機能のうちでも、特に授業デザインの小道具としての側面に注目し、1学期(15回)分の授業について、教育目標・教育学習活動・学習成果の把握を構造化することの重要性、ループリックによる評価について学びます。

串本剛(東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授)

[L-03,04] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 △

#6

学習と教育の科学:

日本の子どもの数学的・科学的リテラシーはどう高まるか——国際比較から

9/10(木) 15:00-17:00

数理科学と自然科学の教育は、現代社会を生きるきわめて重要な教養となっており、国際的には、STEM(Science, Technology and Engineering & Mathematics)と国家的に推進されています。ところで、OECDによる国際調査が進む中で、日本の子どもの数学的・科学的リテラシーには大きな課題があることがわかりました。この点を、科学的リテラシーの国際比較に造詣の深い藤村先生をお招きし、学習します。

藤村宣之(東京大学教授)

[L-04] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 △

#7

学びの深化と学習評価

——パフォーマンス評価を中心に——

12/19(土) 10:00-12:00

現在の大学教育では、アクティブラーニングが

政策的に推進されていますが、それが単なる手法にとどまらず、「深い学習」を組みこんだアクティブラーニングになるには何が必要でしょうか。本セミナーでは、知識や技能などを複合的に用いながら生み出される思考や表現のプロセスやプロダクトを評価する「パフォーマンス評価」を中心に、学習評価の理論と方法を紹介し、それがどのように学生の学びを促すのかについて考えます。

松下佳代(京都大学教授)

[M-03] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#8 日本的高等教育政策

1/9(土) 13:00-15:00

我が国的高等教育は1990年代以降、18歳人口の縮減とグローバル化の進展を背景に多くの課題に直面し続けていますが、実際的高等教育政策は諸課題に対応できているのでしょうか。本セミナーでは、日本的高等教育政策に関する歴史的整理を踏まえつつ、現在の動向と今後の課題を読み解きます。

羽田貴史(東北大学高度教養教育・学生支援機構教授)

[L-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#9 世界的高等教育政策

1/10(日) 10:00-12:00

グローバル化が進行するなか、世界的高等教育には、質保証や市場化といった共通課題に向けた取り組みが求められています。本セミナーでは、欧州、米英豪、アジア太平洋の主要な国・地域で展開されている高等教育政策を概観し、21世紀高等教育の方向性を考えます。

杉本和弘(東北大学高度教養教育・学生支援機構教授)

[L-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

S 専門教育での指導力形成関連

#10 研究倫理ワークショップ 科学の健全な発展のための 責任体制の構築へ向けて

4/27(月) 13:00-17:30

STAP細胞事件を初めとする研究不正の続発は、日本の科学研究の信頼性に深刻な問題を投げかけています。昨年8月文部科学大臣決定

による不正対応ガイドラインが策定され、大学等の管理責任を強化し、研究倫理教育を推進することなどが義務付けられました。本ワークショップは、新ガイドラインに沿って責任ある研究を進めるための諸課題を議論し、共有します。

市川家國(信州大学特任教授) | 札幌順(金沢工業大学教授)

中村征樹(大阪大学准教授) | 山崎茂明(愛知淑徳大学教授)

[S-03] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ○

#11 研究倫理シリーズ第3回： 盗用と言われない英語論文の執筆

——大学教員は何を指導すべきか

6/22(月) 15:00-18:00

外国語で論文を執筆する際の盗用(剽窃)には、「倫理観の欠如」だけでは説明できない問題がからんでいます。本セミナーでは、盗用を防ぐために教員は何に留意し、どのように指導すべきかを検討します。

吉村富美子(東北学院大学教授)

[S-03] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 △

#12 Second Language Acquisition Theory and Language Pedagogy

——第二言語習得理論と外国語教育——

6/29(月) 15:00-17:50

文法規則を理解し、単語の暗記や機械的なドリルをするだけでは、外国語を使いこなす能力は身につけません。本セミナーは、外国語科目を担当する教員及びTAを対象に、第二言語習得研究の知見を解説し、効果的な外国語教育の方法を検討します。*講演は全て英語で行われます。

Rod Ellis(ニュージーランドオークランド大学教授)

[S-01] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 △

#13 専門教育指導力育成プログラム 大学英語教授法強化講座：

英語を教える大学教員のための
スキルアップコース

——インタラクティブな教授法で

英語力を向上させる——(国内集中コース/2日間)

7/25(土)・26(日)

英語を教えている大学教員のためのアドバンスなコースです。日本の大学には、大学レベルの英語教育方法論の講義がほとんどありません。英語圏の大学TESOLの内容をふまえ、英語教育論の泰斗吉田研作上智大学教授の講義と東北大学のネイティブ教員によるワークショップを組み合わせました。参加者は全国募集します。

吉田研作(上智大学教授)

Todd Enslen(東北大学高度教養教育・学生支援機構講師)

Daniel Eichhorst(同 講師)

Ben Shearon(同 講師)

[S-01] 院生 △ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ×

#14 BTP

専門教育指導力育成プログラム

大学中国語教授法強化講座：

中国語を教える大学教員のための

スキルアップコース(海外集中コース/1週間)

9/1(火)–10(木)

中国語を教えている大学教員のためのアドバンスなコースです。北京語言大学で、中国語教育の理論・方法論、指導の実際、教材について学ぶ大学教員対象プログラムをカスタマイズしました。スキルアップを目指す中堅教員、初めて教壇に立つ教員を全国募集します。

[S-01] 院生 △ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ×

#15 体育を通して見る人間教育

8/4(火) 13:00-17:30

専門性をさらに高める能力の育成が人間教育の一面であり、体育は人間性を培う要素をふんだんに含んでいるのではないのでしょうか。このプログラムでは、体育を通して培われる人間性について、具体的な事例報告や課題を交えながら先駆者の先生方にご講演を頂きます。

木原成一郎(広島大学教授) | 小林勝法(文教大学教授)

大築立志(東京大学名誉教授) | 田中真介(京都大学准教授)

浅井英典(愛媛大学教授)

[S-01] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#16 Classroom English: Expressions

11/26(木) 15:30-17:30

英語で授業を担当する方を対象として、授業の始め方、学生への指示の出し方など、授業を運営するための英語表現を実践的に学ぶセミナーです。スムーズな授業運営に役立つ英語表現をネイティブ講師がわかりやすく解説します。

Todd Enslen(東北大学高度教養教育・学生支援機構講師)

[S-01] 院生 ◎ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#17 Classroom English: Pronunciation

12/11(金) 15:00-17:00

基本的な英語の発音のコツは、大人になってからはなかなか学ぶ機会がありません。本セミ

ナーでは、通じる英語に欠かせないリズムやアクセント、日本人が苦手とする音を取りあげ、ネイティブ講師による実践的な練習を交えて楽しく学びます。

Vincent Scura (東北大学高度教養教育・学生支援機構講師)

[S-01] 院生 ◎ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#18 Planning and Managing Active Learning in English

10/23(金)・24(土) ・2日間

学生の主体的な学びを促進するために、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れることは、効果的だと考えられています。そのアクティブ・ラーニングを英語で実施する場合に、どのようなことを考えて授業を設計し、授業中はどのように振る舞えば良いのかを実践的に学びます。

Todd Enslen (東北大学高度教養教育・学生支援機構講師)
Daniel Eichhorst (同 講師)

[S-01] 院生 △ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 △

#19 コーチング技能を活用した院生指導

12/3(木) 13:00-16:10

PFFP NFP

コーチングとは、深い理解とスキルを身に着ける認知的徒弟制において、教師がモデリングに続き、課題を実行している学生にヒントや挑戦を与えたり、動機づけ、励まし、対話を行う活動です。学生の意欲を高める研究指導には不可欠のスキルです。コーチング技術の開発に取り組んできた出江先生にワークショップ形式で学びます。

出江 紳一 (東北大学医工学研究科長、教授)

[S-03] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 △

#20 専門教育指導力育成プログラム 数理科学教育の新たな展開 —— 文系基礎学・市民的教養としての数理科学

2015年12月開催予定

●東北大学東京分室にて開催

数理科学は、あらゆる学問で活用され、現代社会を生きる教養として不可欠です。諸外国においては、初等教育から高等教育まで数学教育が強化されていますが、日本は数学嫌いが増加してきました。分野を超えて数理科学教育の重要性を共有し、発展の道を探ります。

[S-01] 院生 △ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 △

W 学生支援力 形成関連

#21 高等教育機関における 障害学生教育・支援の 体制整備を考える

9/30(水) 13:00-16:00

4月から障害者差別解消法が施行し、多くの大学で特別支援のための窓口の設置や、支援スタッフの配置が行われ、学生に対し「社会的障壁の除去」「合理的配慮の提供」が試行されています。本セミナーでは、九州大学、京都大学、東北大学の障害学生支援の担当者に、それぞれの大学における取組みの現状と課題をご紹介いただき、ワークショップ形式で理解を深めます。

田中 真理 (九州大学教授) | 村田 淳 (京都大学助教)

池田 忠義 (東北大学高度教養教育・学生支援機構教授)

長友 周悟 (同 講師)

[W-01,02] 院生 △ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#22 健康科学セミナー (4回シリーズ)

2015年度後期

最近の健康科学の進歩は目覚ましく、その進歩を踏まえた健康科学の概略を知ることが「健康な生活習慣形成の指導」を教員が行うために必須である。本セミナーでは、健康科学全般からのトピックス、学生・教員を脅かす疾患を中心に計4回の講演を予定しています。

[W-04] 院生 ○ | 新任 ◎ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

M マネジメント力 形成関連

#23 若手職員のための大学職員論 (4)

—— 「つながり」のススメ ——

7/4(土) 13:00-17:30

大学職員にとって、学内の異なる部署や他大学の人々たちとつながることで得られるものは何でしょうか。「つながり」は、いま、大学における職場の活性化や組織の発展、学生の成長、さらには自分自身の成長のためのキーワードとなっ

ています。本セミナーでは、若手職員が実際にどんな「つながり」を持っているのか、今後どのように育んでいけばいいのかについて、ワークショップを通して考えます。

川面 きよ (大学コンソーシアム京都専門研究員)

[M-02] 院生 × | 新任 × | 中堅・リーダー × | 職員 ◎

#24 データ分析・解釈の技法

8/1(土) 13:00-17:00

LAB

高等教育をめぐる事象が多様化するなか、教育改善や意思決定に関わる人材には、関連する情報やデータを整理し、できる限り客観的に解釈できる基礎的素養が必要になっています。本セミナーでは、ワークショップを通して、データを分析し解釈するためのベーシックな技法の習得を目指します。

串本 剛 (東北大学高度教養教育・学生支援機構准教授)

[M-03] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#25 大学における 教育マネジメントと質保証

8/2(日) 13:00-15:00

LAB

近年、我が国では高等教育の質保証に向けた議論が活発化し、そのための多様なツールの導入が急速に進んでいます。しかし、重要なのはツール自体ではなく、それらをどう使って(あるいは、使わずに)教育活動全体をマネジメントするかです。本セミナーでは、大学教育の質保証に必要なマネジメントのあり方について考えます。

大森 不二雄 (首都大学東京教授)

[M-03] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#26 組織のパフォーマンスを向上させる マネジメント

9/5(土) 13:30-17:30

LAB

組織のパフォーマンスを高めるためには有効な組織マネジメントが欠かせません。組織は人間が結びついて目的を達成するためのものであり、ビジョンを共有し、同じ目標のもとで分担しながら活動するために、動機づけや信頼感、相互コミュニケーションなど重要な手法があります。本セミナーはワークショップ形式を通して、組織を有機的に機能させるための方策についてさまざまな事例を基に考えます。

藤本 雅彦 (東北大学経済学研究科教授)

[M-03] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#27

LQD

国際シンポジウム
高等教育の国際戦略とリーダーシップ
11/14(土) 13:00-17:00

大学ガバナンスにおいて学長のリーダーシップのあり方が問われる昨今、改めて我が国の高等教育を統べるリーダーの役割やその育成に対する関心が高まっています。本国際シンポジウムでは、海外大学でリーダーシップを担う現役の管理職や、リーダーシップ研究やアカデミック・リーダー育成に携わる専門家を招聘して、21世紀における高等教育のリーダーシップの行方について議論します。

Richard James(メルボルン大学副学長)ほか

[M-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#28

LQD

IDE大学セミナー
11/16(月)

このセミナーは、大学教育に関心を有する国公立大学等の教職員を主な対象として、当面する諸課題について情報共有及び検討を行い、各機関において教育・学生指導の改善・充実を図ることを目的にしています。

[M-01] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ○

#29

LQD

国立大学のガバナンスとリーダーシップ
1/10(日) 13:00-15:00

政府財源が逼迫する中、国立大学は法人化以降、機関運営の効率化が要請されるようになり、経営・教学の両面で戦略的かつ効果的なガバナンスが必要になっています。さらに、学長によるリーダーシップが発揮できる体制の整備も求められています。本セミナーでは、国立大学においていかなるガバナンスとリーダーシップが必要なのかについて考えます。

吉武博通(筑波大学教授)

[M-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#30

LQD

私立大学のガバナンスの課題と展望
—— 地方中・小中学の可能性を考える
1/9(土) 15:30-17:30

大学による教育研究等の多様な営みを「統治」するガバナンスのあり方への注目が集まっています。本セミナーでは、大学におけるガバナンスについて、特に私立大学での経験を基に、外部アクターに対するガバナンスと内部におけるガバナンスの問題について学ぶとともに、ガバナンス強化のために必要な取組みについて考

えます。

合田隆史(尚絅学院大学学長)

[M-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#31

LQD

データを活用した教育改善へのステップ
12/19(土) 13:00-17:00

高等教育における組織的な教育改善に向け、学内情報・データを収集・分析する機関調査(Institutional Research: IR)が重要性を増しています。本セミナーでは、ワークショップを通して、適切なリサーチ・クエスションを設定した上で、データを収集・分析して教育改善に結びつけるのに必要な考え方を学びます。

鳥居朋子(立命館大学教授)

川那部隆司(立命館大学准教授)

[M-01] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ◎ | 職員 ◎

#32

SDP

東北大学職員のための「大学変革力」
育成講座(3回シリーズ) ●学内限定
9月-12月

本講座は、東北大学において世代・職階ともに「中堅」に位置づく職員が、変化の激しい多様な時代的ニーズを踏まえつつ、本学の強みを活かした新たなイノベーションを創出できる「大学変革力」を獲得・育成することを目的としています。本講座は3回のシリーズから構成され、4ヶ月の間にチームによる自主的な議論や打合せを経て、企画提案を行っていただきます。

[M-02] 院生 × | 新任 × | 中堅・リーダー × | 職員 ◎

#33

SDP

若手職員のための大学職員論(5)
2015年後期開催予定

今日、大学経営を担い、教員と共に学生の学びを支援する職員自身にも、主体的に学び、自らの能力を高め、キャリアを形成していく力が必須となることは言うまでもありません。本セミナーでは、大学の今後を担う若手・中堅職員が、ひととき現場を離れ、大学の垣根を超えて他大学職員と共に省察や議論を行う中でさらに成長していくきっかけを提供します。

[M-02] 院生 × | 新任 × | 中堅・リーダー × | 職員 ◎

PFFD

NFD

LQD

SDP

OTD

各キャリア別プログラムの一環としても提供されます。

POP ONLINE

www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/PDPonline



PDセミナーの動画を配信しています。視聴に際して登録や受講料は必要ありません。自分のペースで自由にオンライン学習が可能です。

L [Literacy]
●歴史から見た大学: 中世から現代まで
(寺崎昌男、立教学院)

S [Specialty]
●Classroom English: Pronunciation and Expressions – Language of the classroom
(Todd Enslin, 東北大学)

W [Health&Welfare]
●大学教育と青年期発達(鈴木敬明、東北大学)

M [Management]
●IRを活用した教育改善へのステップ
(鳥居朋子、立命館大学)

受講モデル

各種セミナー、PDPonlineを活用して自己を高めてみませんか? キャリア・ステージ別のお薦めセミナー・動画を参考に受講してみてください。

院生向け
●Classroom English: Pronunciation
●コーチング技能を活用した院生指導
●授業づくり: 準備と運営

新任教員向け
●盗用と言われない英語論文の執筆
—— 大学教育は何を指導すべきか ——
●授業づくり: 準備と運営
●学習と教育の科学
—— 認知理論から大学の授業改革を考える ——

中堅・リーダー向け
●大学における教育マネジメントと質保証
●データを活用した教育改善へのステップ
●リーダーシップと意思決定

職員向け
●国際シンポジウム:
高等教育の国際戦略とリーダーシップ
●組織のパフォーマンスを向上させる
マネジメント
●若手職員のための大学職員論(4)
—— つながりのススム ——

刊行物のご紹介



PDブックレット Vol.1
すてきな大学教員をめざすあなたに
[2011.7月刊行]



PDブックレット Vol.2
大学の授業を運営するために
[2012.3月刊行]



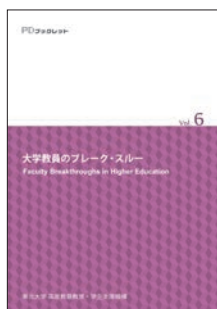
PDブックレット Vol.3
学生のための心理・教育的支援
[2012.6月刊行]



PDブックレット Vol.4
ER@TU
—— 多読のすすめ
[2013.3月刊行]



PDブックレット Vol.5
高等教育における教育・学習のリーダーシップ
[2014.3月刊行]



PDブックレット Vol.6
大学教員のブレーク・スルー
[2015.2月刊行]

大学教育支援センターについて

大学教育支援センターは、教育関係共同利用拠点(第1期2010年3月、第2期2014年7月認定)としての役割を果たすために設けられた業務センターです。当センターは、高度教養教育・学生支援機構に設置された11の業務センターの一つで、国際連携を基盤に、大学教育内容・方法開発及び教職員の能力開発を推進するための調査研究を行い、その成果に基づくプログラム開発、実施をしています。

 「CPDtohoku」で検索

 @CPD_tohoku



www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/

CPD

東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター

980-8576

宮城県仙台市青葉区川内41

tel: 022-795-4471

fax: 022-795-4749

e-mail: cpd_office@ihe.tohoku.ac.jp

url: <http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/>

41 Kawauchi, Aoba-ku,

Sendai, Miyagi 980-8576 Japan

tel: +81-22-795-4471

fax: +81-22-795-4749

e-mail: cpd_office@ihe.tohoku.ac.jp

url: <http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/>